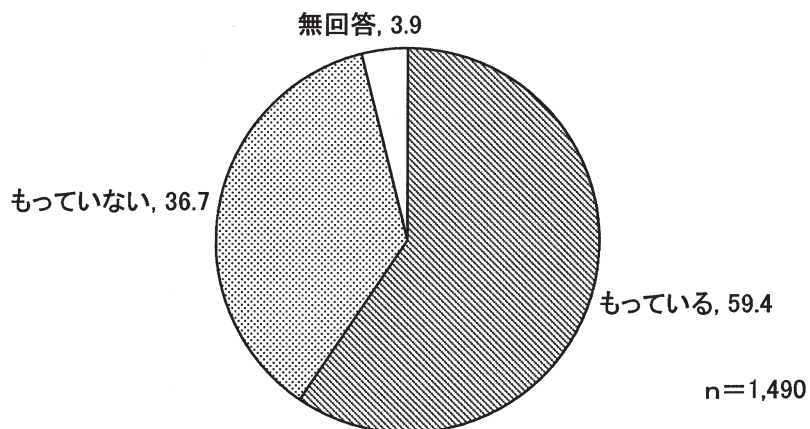


5. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

(1)仕事の有無

問12 現在、職業(自営も含む)をもっているかどうか。

【図表12-1 仕事の有無】



◆回答者のうち、仕事をもっている人が6割

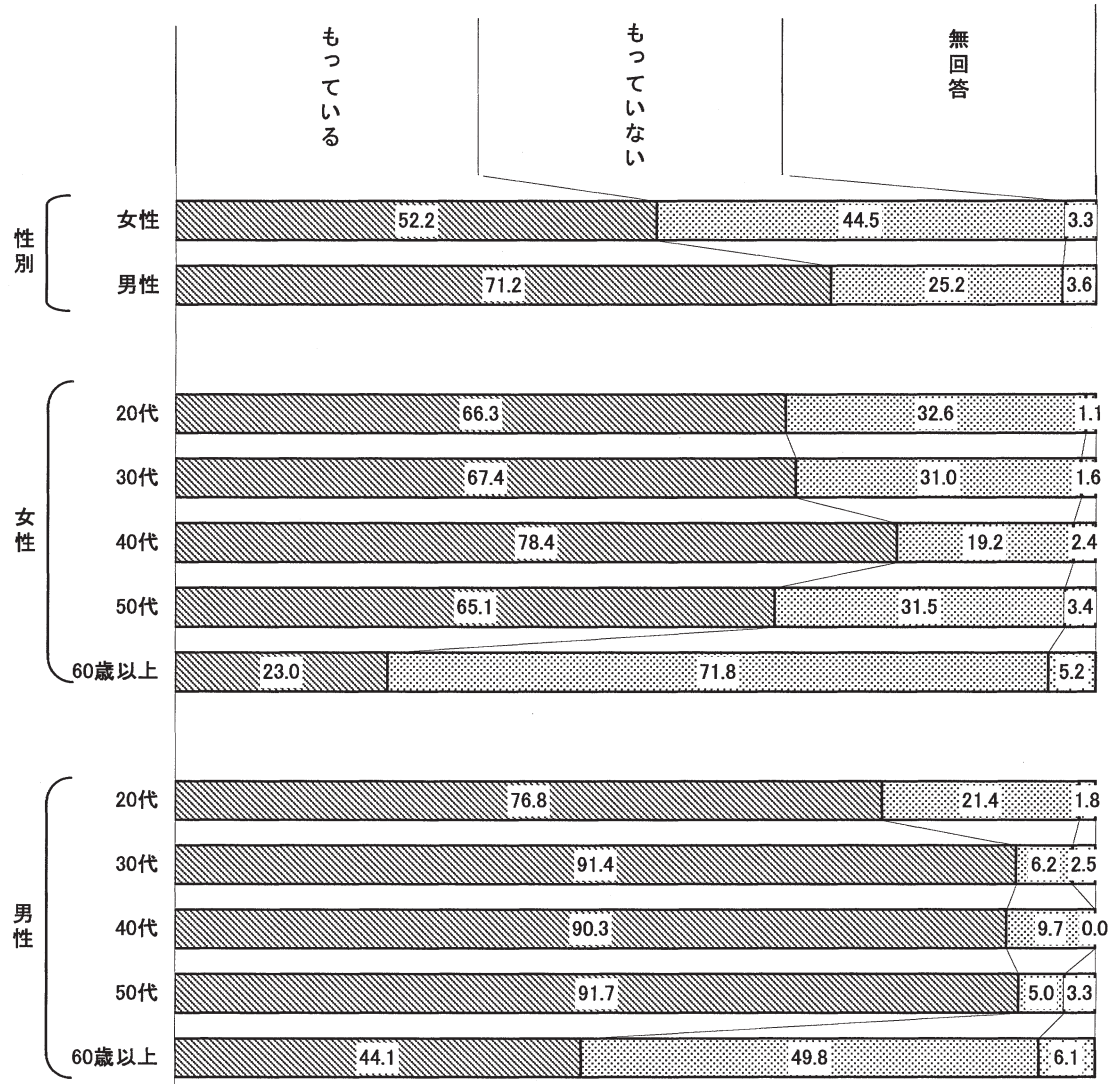
仕事をもっている人の割合は、59.4%となり、もっていない人(36.7%)に比べて22.7ポイント上回っている。

<性別、性・年齢別>

女性では仕事をもっている人が52.2%となっているが、男性では71.2%となっており、男性が19.0ポイント上回っている。

女性では、60歳以上を除くと6割以上が仕事をもっているが、男性では、30～50代は9割が仕事をもっている。

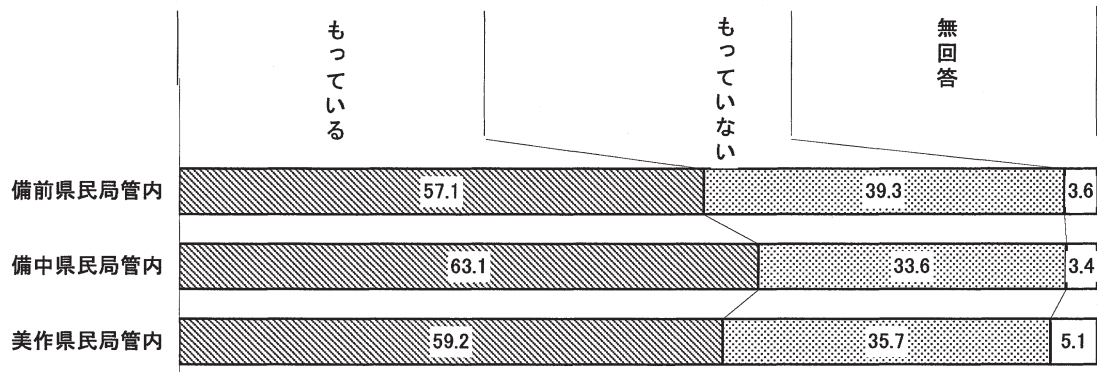
【図表12-2 仕事の有無(性別、性・年齢別)】



<地域別>

いずれの県民局管内も仕事をもっている人の割合が6割程度を占めている中、備中県民局管内で仕事をもっている人の割合が高い。

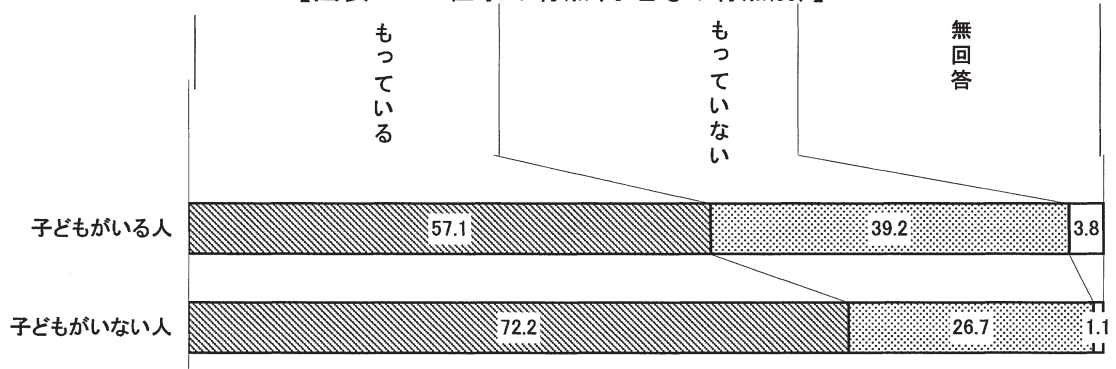
【図表12-3 仕事の有無(地域別)】



<子どもの有無別>

「子どもがいない人」は72.2%が仕事をもっており、「子どもがいる人」は57.1%が仕事をもっており、「子どもがいない人」が15.1ポイント上回っている。

【図表12-4 仕事の有無(子どもの有無別)】

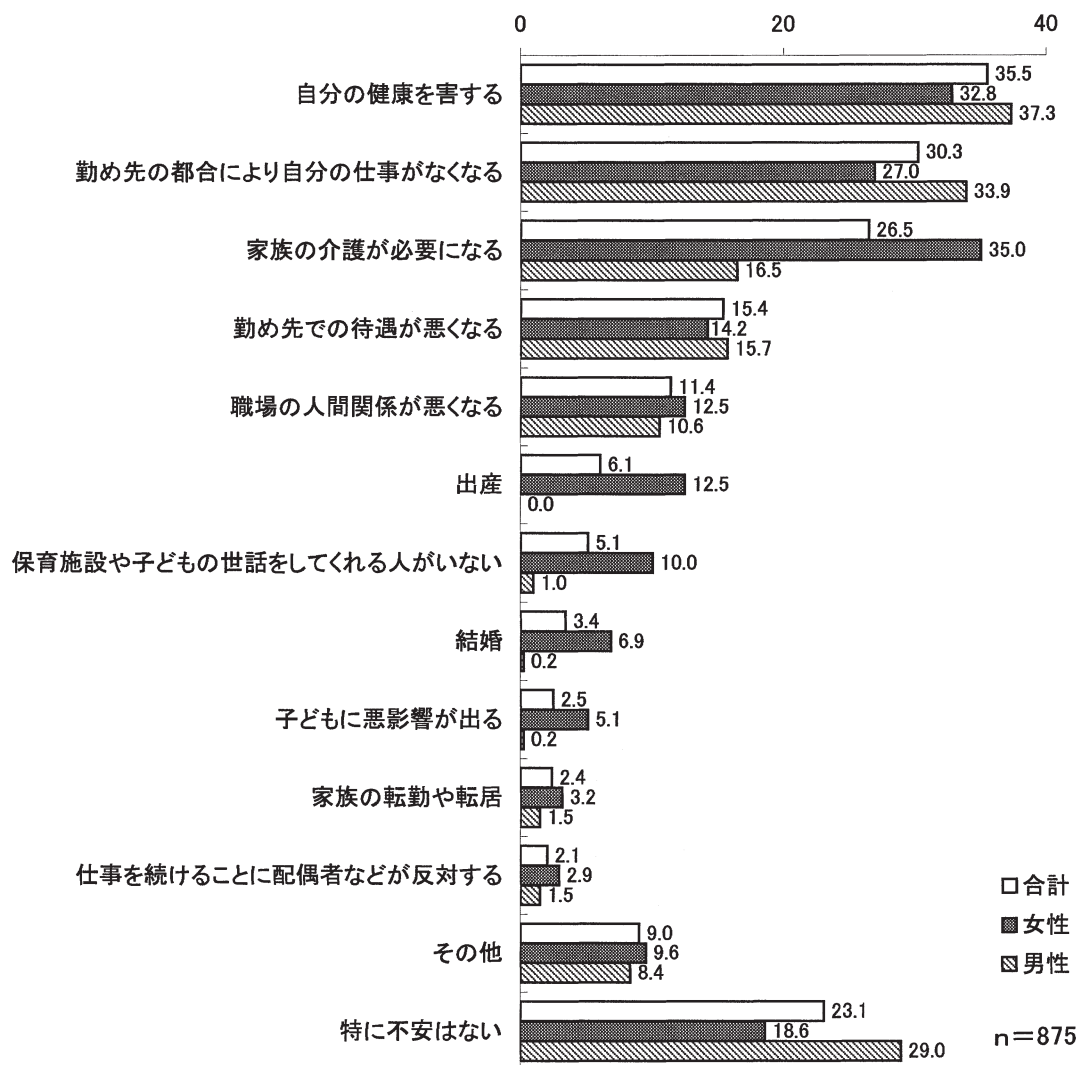


(2) 仕事の継続に対する不安

問12で「もっている」と答えた方のみお答えください。

問13-1 あなたは、現在、今の仕事を続けたくとも続けられなくなるかもしれないという不安がありますか。それはどのようなことから生じる不安ですか。(○印はいくつでも)

【図表13-1-1 仕事を続けられなくなる不安】



◆女性に比べて「家族の介護」、「出産」、「保育」等の家族の要因が多い

仕事を続けられなくなる不安について、「自分の健康を害する」が35.5%と最も多く、次いで「勤め先の都合により自分の仕事がなくなる」(30.3%)、「家族の介護が必要になる」(26.5%)の順となっている。

女性では、「家族の介護が必要になる」、「出産」、「保育施設や子どもの世話をしてくれる人がいない」等の家族関係の要因が男性に比べて多くなっている。

<性・年齢別>

女性では、20代で「出産」が最も多くなっている。40代、50代では「家族の介護が必要になる」が最も多い。

男性では、40代以上で「自分の健康を害する」が最も多い。

30代では、男女ともに「勤め先の都合により自分の仕事がなくなる」が最も多くなっている。

【図表13-1-2 仕事を続けられなくなる不安(性・年齢別)】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20代	出産	36.1	結婚 特に不安はない		24.6	
	30代	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	33.7	自分の健康を害する	30.2	家族の介護が必要になる/保育施設や子どもの世話をしてくれる人がいない	27.9
	40代	家族の介護が必要になる	46.9	自分の健康を害する	31.6	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	26.5
	50代	家族の介護が必要になる	53.7	自分の健康を害する	40.0	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	33.7
	60歳以上	自分の健康を害する	37.3	家族の介護が必要になる	26.9	特に不安はない	23.9
男性	20代	特に不安はない	46.5	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	32.6	自分の健康を害する	27.9
	30代	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	44.4	自分の健康を害する	36.1	勤め先での待遇が悪くなる	23.6
	40代	自分の健康を害する	40.2	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	34.1	家族の介護が必要になる	24.4
	50代	自分の健康を害する	37.6	特に不安はない	33.9	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	31.2
	60歳以上	自分の健康を害する	40.0	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	29.0	特に不安はない	24.0

<地域別>

いずれの県民局管内でも、「自分の健康を害する」が最も多くなっている。次いで、備前、備中県民局管内では「勤め先の都合により自分の仕事がなくなる」が、美作県民局管内では「家族の介護が必要になる」が続いている。

【図表13-1-3 仕事を続けられなくなる不安(地域別)】

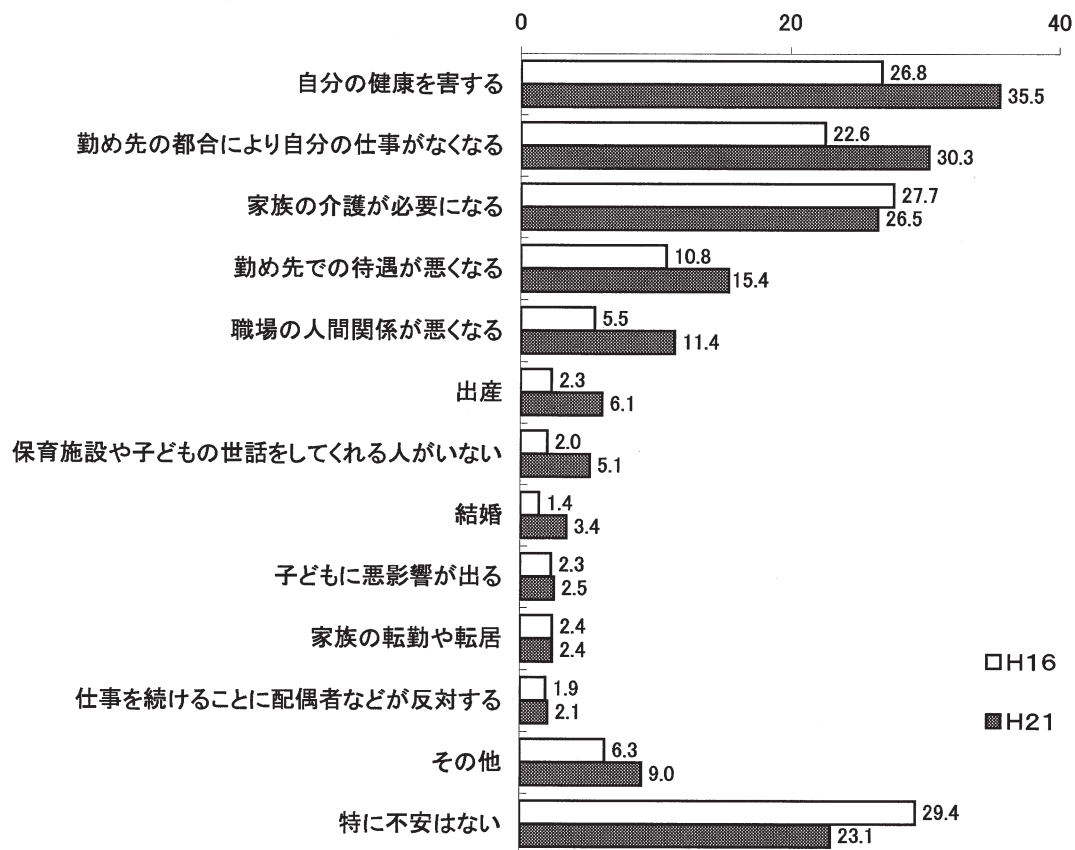
(単位:%)

		備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	自分の健康を害する	36.2	自分の健康を害する	36.4	自分の健康を害する	29.2	
2位	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	32.3	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	30.2	家族の介護が必要になる	27.4	
3位	家族の介護が必要になる	25.5	家族の介護が必要になる	27.5	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	25.7	

<前回調査との比較>

H16年調査と比較すると、「自分の健康を害する」(H16:26.8% H21:35.5%)、「勤め先の都合により自分の仕事なくなる」(H16:22.6% H21:30.3%)では、8ポイント程度、H16よりH21のほうが増加している。

【図表13-1-4 仕事を続けられなくなる不安(前回調査との比較)】

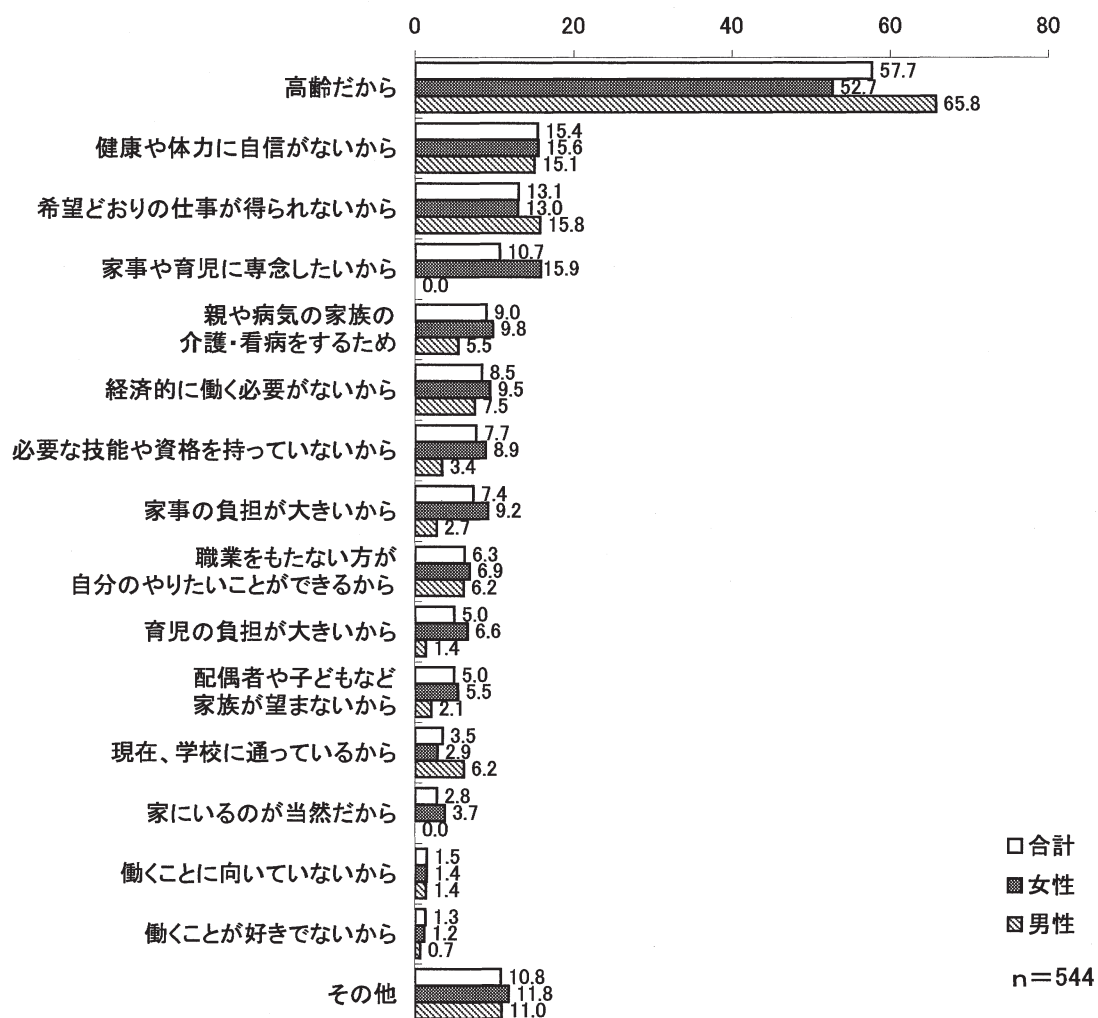


(3)働いていない理由

問12で「もっていない」と答えた方のみお答えください。

問13-2 あなたが働いていないのはどうしてでしょうか。(○印はいくつでも)

【図表13-2-1 働いていない理由】



◆職業を持っていない人のうち、6割弱の人が「高齢だから」

職業を持っていない人に働いていない理由について、「高齢だから」が57.7%と最も多く、次いで「健康や体力に自信がないから」(15.4%)、「希望どおりの仕事を得られないから」(13.1%)の順となっている。

男性では「高齢だから」が65.8%で、女性(52.7%)を13.1ポイント上回っている。

<性・年齢別>

女性では、20代から40代までは、「家事や育児に専念したいから」が最も多くなっている。また、50代では「親や病気の家族の介護・看病をするため」が最も多くなっている。

男性では、20代で「現在、学校に通っているから」が、30代、40代で「希望どおりの仕事を得られないから」が最も多くなっている。

60歳以上では男女ともに「高齢だから」が最も多くなっている。

【図表13-2-2 働いていない理由(性・年齢別)】

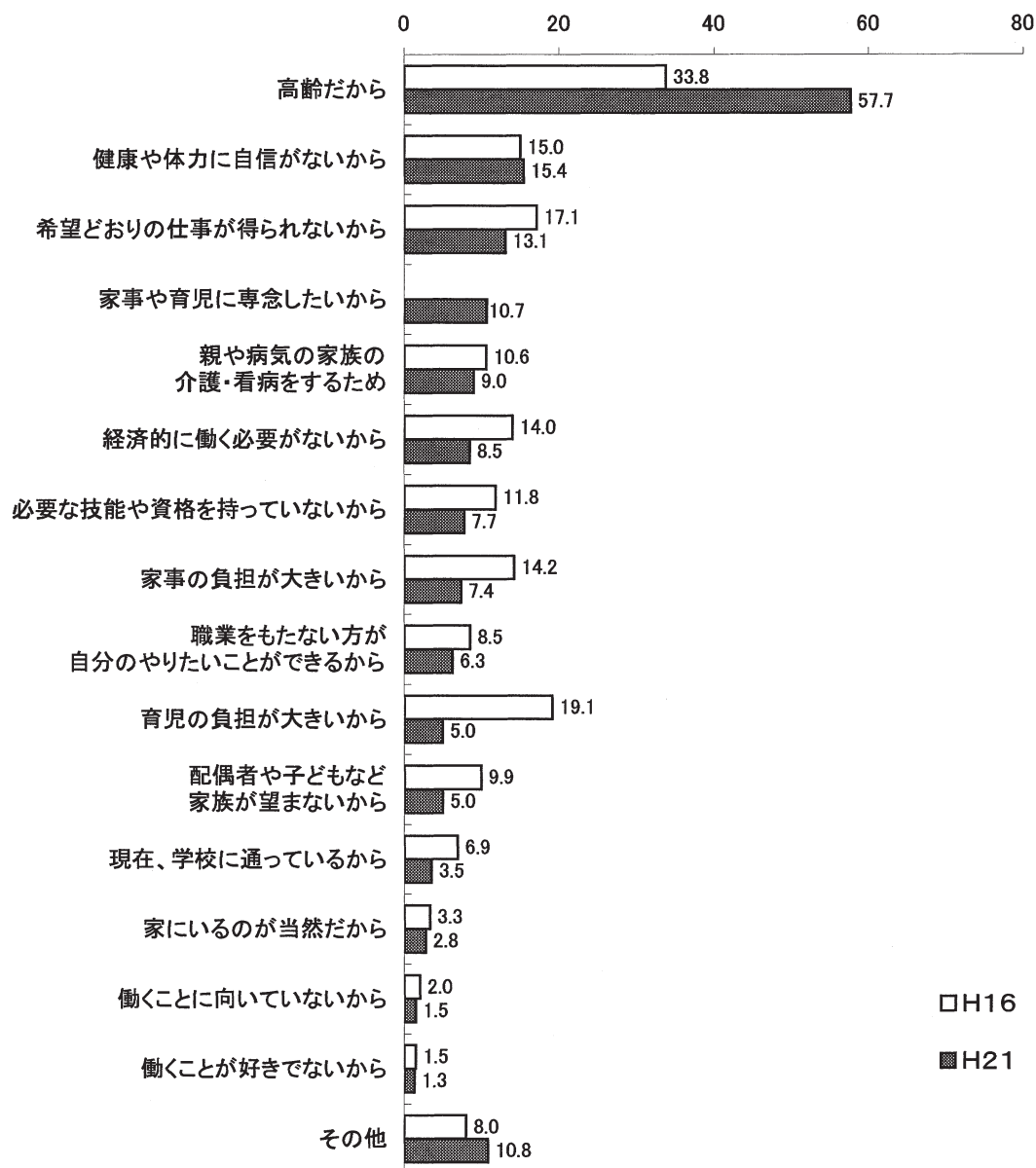
(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20代	家事や育児に専念したいから		30.0	育児の負担が大きいから	20.0	
		現在、学校に通っているから					
	30代	家事や育児に専念したいから	60.0	育児の負担が大きいから	37.5	希望どおりの仕事を得られないから	32.5
		希望どおりの仕事を得られないから					
	40代	家事や育児に専念したいから		45.8	配偶者や子どもなど家族が望まないから		20.8
希望どおりの仕事を得られないから							
50代	親や病気の家族の介護・看病をするため	31.9	健康や体力に自信がないから	25.5	経済的に働く必要がないから	23.4	
60歳以上	高齢だから	86.4	健康や体力に自信がないから	14.6	その他	9.7	
男性	20代	現在、学校に通っているから	75.0	健康や体力に自信がないから		8.3	
				希望どおりの仕事を得られないから			
				働くことに向いていないから			
	30代	希望どおりの仕事を得られないから	60.0	家事の負担が大きいから		20.0	
				働くことに向いていないから			
その他							
40代	希望どおりの仕事を得られないから		55.6	職業をもたない方が自分のやりたいことができるから		11.1	
	その他						
50代	その他	33.3	経済的に働く必要がないから/健康や体力に自信がないから/希望どおりの仕事を得られないから/親や病気の家族の介護・看病をするため/高齢だから/必要な技能や資格を持っていないから		16.7		
60歳以上	高齢だから	83.3	健康や体力に自信がないから	16.7	希望どおりの仕事を得られないから	11.4	

＜前回調査との比較＞

H16年調査と比較すると、「高齢だから」が23.9ポイント増加している。反対に、「希望どおりの仕事を得られないから」、「経済的に働く必要がないから」、「必要な技能や資格を持っていないから」、「家事の負担が大きいから」、「育児の負担が大きいから」などは、低下している。

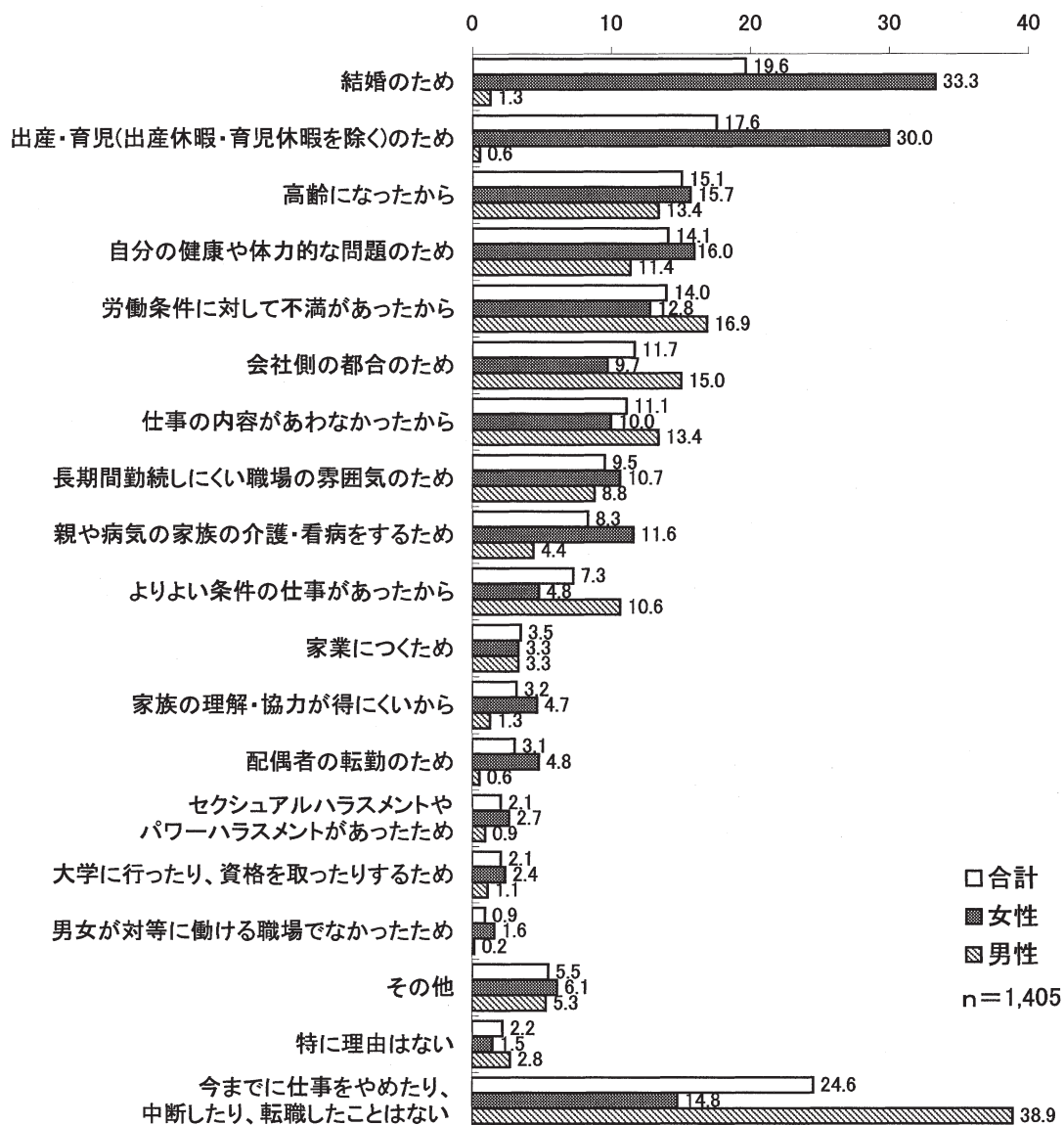
【図表13-2-3 働いていない理由(前回調査との比較)】



(4) 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由

問14 あなたは、仕事をやめたり、中断したり、あるいは転職したことがありますか。あるとすれば、それはどのような理由からでしょうか。(○印はいくつでも)

【図表14-1 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由】



◆「結婚」、「出産・育児」で男女に大きな差、「親や病気の家族の介護・看病」も女性で1割を超える

仕事をやめたり、中断したり、転職した理由について、「結婚のため」が19.6%と最も多く、次いで「出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため」(17.6%)、「高齢になったから」(15.1%)の順になっている。

「結婚のため」(女性：33.3% 男性：1.3%)、「出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため」(女性：30.0% 男性0.6%)は女性が男性を大きく上回っている。

一方、「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」では、男性(38.9%)が女性(14.8%)を大きく上回っている。

また、「親や病気の家族の介護・看病」が女性で11.6%、男性で4.4%あった。

<性・年齢別>

女性では、30代から50代までは、「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）」が最も多くなっている。また、20代を除いては「結婚のため」も多い。

一方、男性の20代から50代まででは、「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」が最も多く、次いで「労働条件に対して不満があったから」が続いている。

【図表14-2 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由(性・年齢別)】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	40.0	労働条件に対して不満があったから	21.2	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	17.6
	30代	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	41.4	結婚のため	33.6	労働条件に対して不満があったから	24.2
	40代	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	42.3	結婚のため	41.5	自分の健康や体力的な問題のため	16.3
	50代	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	44.1	結婚のため	41.4	親や病気の家族の介護・看病をするため	18.6
	60歳以上	高齢になったから	41.5	結婚のため	31.9	自分の健康や体力的な問題のため	17.0
男性	20代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	56.6	労働条件に対して不満があったから	17.0	自分の健康や体力的な問題のため/仕事の内容があわなかったから	13.2
	30代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	43.2	労働条件に対して不満があったから	27.0	仕事の内容があわなかったから	18.9
	40代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	38.9	労働条件に対して不満があったから	25.6	仕事の内容があわなかったから	17.8
	50代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	42.5	労働条件に対して不満があったから 会社側の都合のため			16.8
	60歳以上	高齢になったから	31.8	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	30.8	会社側の都合のため	15.4

<地域別>

備前、備中県民局管内は「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」が最も多く、美作県民局管内は「結婚のため」が最も多くなっている。

【図表14-3 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由(地域別)】

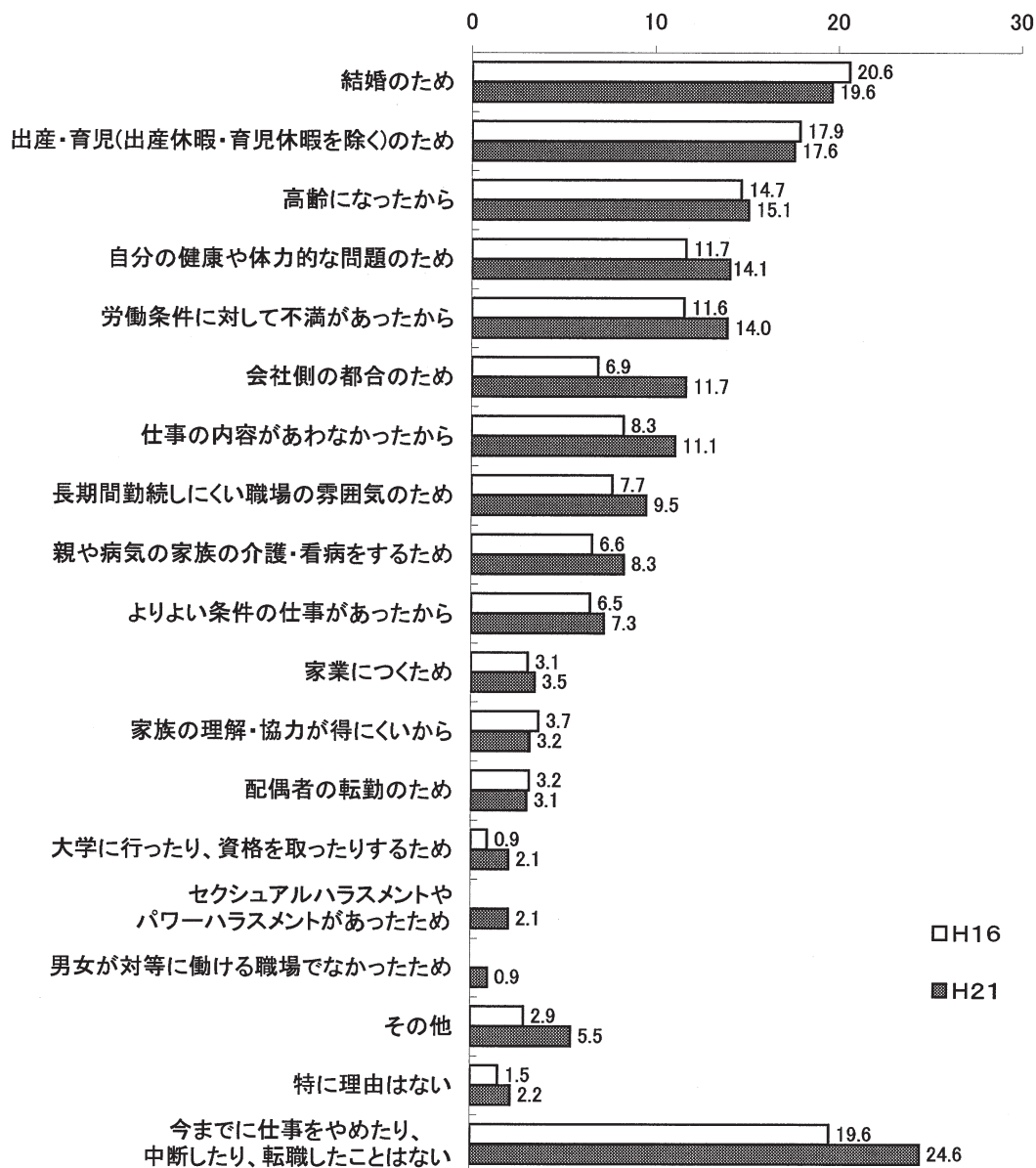
(単位:%)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	26.5	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	23.6	結婚のため	22.0
2位	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	17.4	結婚のため	21.8	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	21.5
3位	結婚のため	17.3	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	17.7	高齢になったから	21.0

<前回調査との比較>

H16年調査と比較すると、「会社側の都合のため」が大きく増加しているが、反対に、「結婚のため」、「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」は、低下している。

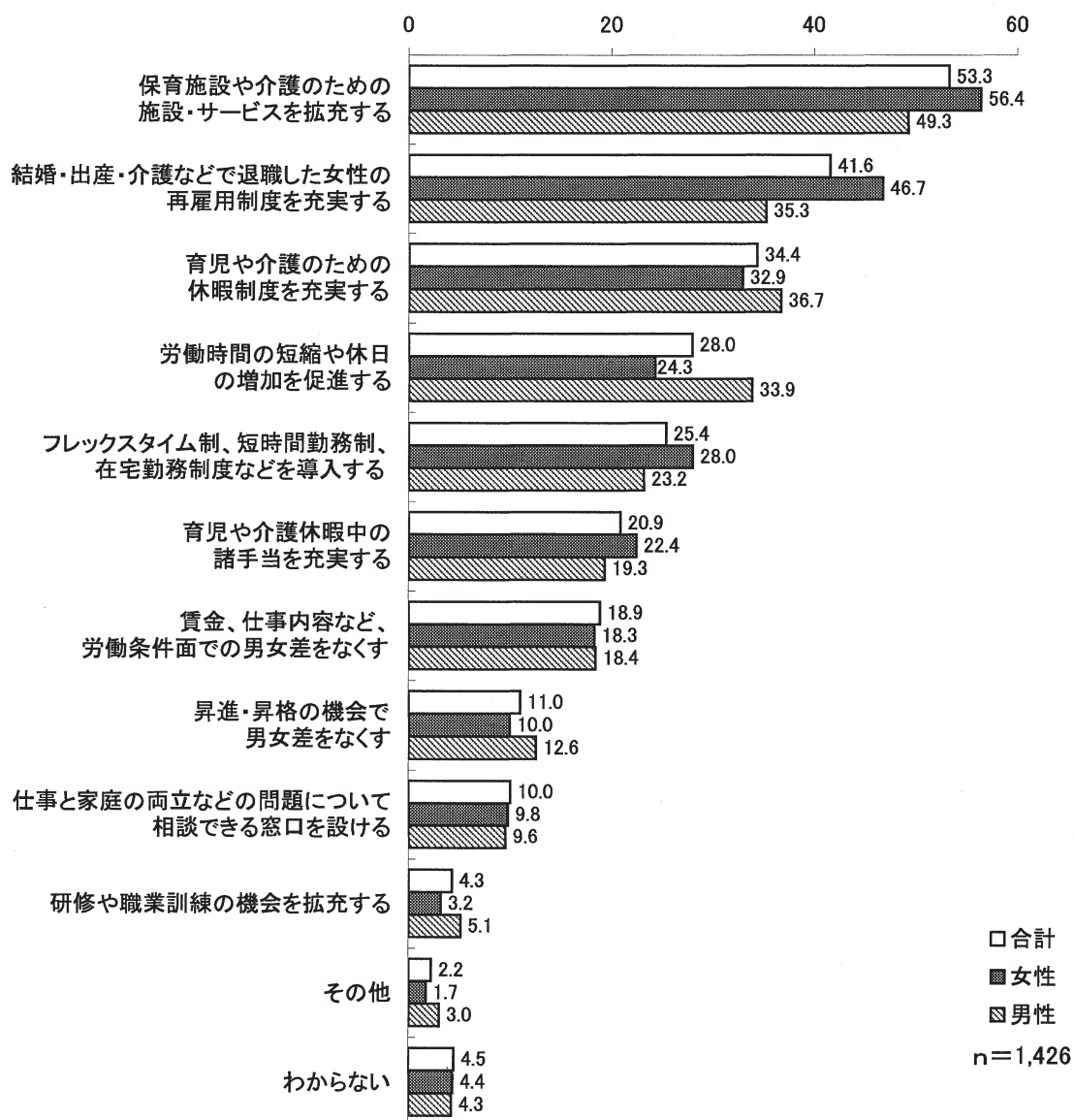
【図表14-4 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由（前回調査との比較）】



(5) 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るために必要なこと

問15 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るためには、どのような条件の整備が必要であると思いますか。(○印は3つまで)

【図表15-1 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るため必要なこと】



◆「保育施設や介護のための施設・サービスの拡充」への期待が強い

仕事と生活の調和を図るために必要な条件整備について、「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が53.3%と最も多く、次いで、「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」(41.6%)、「育児や介護のための休暇制度を充実する」(34.4%)の順になっている。

「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」(女性：56.4% 男性：49.3%)、「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」(女性：46.7% 男性35.3%)は女性が男性を大きく上回っている。

一方、「育児や介護のための休暇制度を充実する」、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」では、男性が女性を上回っている。

<性・年齢別>

女性では、各年代とも「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も多く、次いで「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」が続いている。

男性では、20代、30代では、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」が最も多く、40代以上では「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も多かった。

【図表15-2 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るため必要なこと(性・年齢別)】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	53.3	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	46.7	育児や介護休暇中の諸手当を充実する	38.9
	30代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	59.8	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	46.5	育児や介護のための休暇制度を充実する	38.6
	40代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	53.7	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	41.3	育児や介護のための休暇制度を充実する	39.7
	50代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	60.0	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	50.3	育児や介護のための休暇制度を充実する	33.8
	60歳以上	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	55.4	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	47.6	育児や介護のための休暇制度を充実する	29.0
男性	20代	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	55.4	育児や介護のための休暇制度を充実する	51.8	育児や介護休暇中の諸手当を充実する 結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	26.8
	30代	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	48.1	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	46.8	育児や介護のための休暇制度を充実する	36.7
	40代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	45.7	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	39.1	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	33.7
	50代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	58.8	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	42.0	育児や介護のための休暇制度を充実する	37.0
	60歳以上	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	53.0	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	37.3	育児や介護のための休暇制度を充実する	34.6

<地域別>

いずれの県民局管内とも「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も多く、次いで「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を拡充する」が続いている。

【図表15-3 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るため必要なこと(地域別)】

(単位: %)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	53.5	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	51.7	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	56.2
2位	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	39.1	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	42.4	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	48.1
3位	育児や介護のための休暇制度を充実する	35.4	育児や介護のための休暇制度を充実する	33.2	育児や介護のための休暇制度を充実する	35.7

<前回調査との比較>

H16年調査と比較すると、どちらも「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も多く、次いで「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を拡充する」、「育児や介護のための休暇制度を充実する」が続いている。

また、いずれの項目とも割合が減少している。

【図表15-4 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るため必要なこと(前回調査との比較)】

(単位: %)

	H21年		H16年	
1位	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	53.3	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	57.0
2位	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	41.6	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	54.8
3位	育児や介護のための休暇制度を充実する	34.4	育児や介護のための休暇制度を充実する	43.1

※H16年調査では、「女性が働きやすい状況をつくるためにはどのようなことが必要だと思いますか。」というたずね方をしている。